

NO！リニア

No. 1 4 2

2022年6月10日

J R東海労働組合

J R東海労HP
にアクセス



コロナ禍で収入確保は困難！ 不要なリニアより、社員の生活が第一！

2年前、新型コロナウイルスによる感染症が発症し、日本はもとより世界の社会状況が一変しました。経済の停滞が余儀なくされ、J R東海も会社発足後初めての赤字決算となりました。

そのような状況の中、会社は新型コロナウイルス感染拡大による厳しい経営状況を理由に、経費の節減を旗印に掲げ、業務の効率化や新幹線乗務員の54歳原則出向再開、更にはボーナスの大幅減額、ベースアップゼロなど経営の厳しい状況を社員への押し付けで打開しようと画策しました。これにより社員は生活を一変せざるを得ない状況に追い込まれました。

方や経営側である役員は、破格の報酬であるにもかかわらず、報酬の僅か1割を自主返上するだけにとどめ、改めて自己保身的な悪戯な体質をあからさまにしました。

J R東海労は、このような役員意識を糾弾するとともに、今何よりも一番必要のないリニア工事の中止を会社に強く求めました。新型コロナウイルス感染拡大により旅客が減少し、まして開通しても採算が取れないリニアなど全く必要はありません。まして社員を犠牲にしてまでつくる価値などないと強く追及しました。しかし会社は、会社がどうなるかが、とにかくリニア建設第一の姿勢を崩しませんでした。

何よりも社員の生活が第一です。そのために不必要な投資＝リニア建設の中止を求めてJ R東海労は闘います。